

経済産業省経済協力局貿易管理部
安全保障貿易管理課 佐藤課長殿
安全保障貿易審査課 成瀬課長殿
安全保障貿易管理課 山崎安全保障情報調査室長殿
写) 安全保障貿易管理課 竹上課長補佐殿
写) 安全保障貿易審査課 降井課長補佐殿

平成20年2月15日
(財)安全保障貿易情報センター
輸出管理のあり方専門委員会
総合分科会
主査 鳥越 達弥

ワッセナー・アレンジメントの基礎科学研究に関する提言

ワッセナー・アレンジメントにおいて基礎科学研究に関する技術提供に関しては、General Technology Note にて規制除外がされており、Definitions にて基礎科学研究 (Basic scientific research) の定義がされています。一方、この定義では適用できる範囲が狭い、明確ではないなど基礎科学研究の提供に係る除外規定が有効に運用されているとは言いがたい状況となっています。

安全保障上の技術流出に対応しつつも、円滑な科学技術の発展に資するべく本件の見直しが必要になってきていると考えられ、今般、当分科会としてワッセナー・アレンジメントに提案すべきと判断し下記のように提言いたしますので、ご配慮賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 基礎科学研究における技術提供の現状

ワッセナー・アレンジメント (以下 WA と呼ぶ) 及び我が国政省令では基礎科学研究の除外規定、及び定義は以下のようになっています。この除外規定を適用する場合、応用研究 (特定の製品の設計又は製造を目的とする研究) かそうでないかの判別が難しく、除外規定適用を困難なものにしています。大学・研究機関では輸出管理が不十分と言われていますが、この判定の困難さも要因ではないかと考えられます。

一方企業における研究は何らかの製品への応用を目的にしているものと判断され、安全保障上問題とならない研究まで規制されているのが現状です。

ワッセナー・アレンジメント

General Technology Note

...

Controls do not apply to "technology" "in the public domain", to "basic scientific research" or to the minimum necessary information for patent applications.

DEFINITIONS

"Basic scientific research"

Experimental or theoretical work undertaken principally to acquire new knowledge of the fundamental principles of phenomena or observable facts, not primarily directed towards a specific practical aim or objective.

本邦政省令等

貿易外省令（省令第9条第1項第六号）

六 基礎科学分野の研究活動において技術を提供する取引

役務通達（1（2）ク）

ク 基礎科学分野の研究活動とは、自然科学の分野における現象に関する原理の究明を主目的とした研究活動であって、理論的又は実験的方法により行うものであり、特定の製品の設計又は製造を目的としないものをいう。

2. 米国における扱い

米国では以下の通り 1985 年より基礎科学研究に関し実務的な解釈を行っており、公開されるべき研究は応用研究であっても暗号などの一定の品目を除き基礎科学研究として扱われています。言い換えれば、契約若しくは協定などで情報の公開が禁止されている技術以外は基礎科学研究として本除外規定の適用を受ける事ができます。

本規制内容において、以下のようなメリットがあると考えます。

契約書等で開示の禁止を明示する事により、研究者も基礎科学研究の除外規定を受ける事ができるかの判断が容易。

管理すべき対象が明確になり、大学・研究機関における管理が容易になる。

安全保障上の担保もとることができる。

企業が委託する際にも契約上の義務とは別に輸出管理上の制約を受けるために企業にとっても不用意な技術流出のリスクが減少する。

大学・研究機関の着実な管理を目指すうえでは非常に有効な規制内容と思われます。企業の場合にも安全保障上不必要な規制を受ける事がなくなり、科学技術発展のために有効であると考えます。

米国での基礎科学研究規制

米国では 1985 年 9 月 21 日の National Security Decision Directive 189, "National Policy on the Transfer of Scientific, Technical and Engineering Information"において fundamental research について以下の定義がなされています。

'Fundamental research' means basic and applied research in science and engineering, the results of which ordinarily are published and shared broadly within the scientific community, as distinguished from proprietary research and from industrial development, design, production, and product utilization, the results of which ordinarily are restricted for proprietary or national security reasons.

この大統領令を基にEARでは

§ 734.8 INFORMATION RESULTING FROM FUNDAMENTAL RESEARCH

(a) Fundamental research

に以下のように規定されています。

“fundamental research”

The intent behind these rules is to identify as “fundamental research” basic and applied research in science and engineering, where the resulting information is ordinarily published and shared broadly within the scientific community. Such research can be distinguished from proprietary research and from industrial development, design, production, and product utilization, the results of which ordinarily are restricted for proprietary reasons or specific national security reasons as defined in §734.11(b) of this part. (See Supplement No. 1 to this part, Question D(8)).

Note that the provisions of this section do not apply to encryption software controlled under ECCN 5D002 for “EI” reasons on the Commerce Control List (Supplement No. 1 to part 774 of the EAR) or to mass market encryption software with symmetric key length exceeding 64-bits controlled under ECCN 5D992. See §740.13(e) of the EAR for certain exports and reexports under license exception.

これに引き続き大学、企業などに対する細則が規定されています。

§ 734.8 (抜粋)

(b) University based research

(1) Research conducted by scientists, engineers, or students at a university normally will be considered fundamental research, as described in paragraphs (b)(2) through (6) of this section.

(d) Corporate research

(1) Research conducted by scientists or engineers working for a business entity will be considered "fundamental research" at such time and to the extent that the researchers are free to make scientific and technical information resulting from the research publicly available without restriction or delay based on proprietary concerns or specific national security controls as defined in § 734.11(b) of this part.

§ 734.9

EDUCATIONAL INFORMATION

"Educational information" referred to in 734.3(b)(3)(iii) of this part is not subject to the EAR if it is released by instruction in catalog courses and associated teaching laboratories of academic institutions.

上記に一部抜粋しましたが、この“fundamental research”に係る米国における運用は上記 § 734.8(a)に続く次の条項で明確にされています (参考資料 2)。

§734.8(b) University based research

§734.8(c) Research based at Federal agencies or FFRDCs

§734.8(d) Corporate research

§734.8(e) Research based elsewhere

§734.9 EDUCATIONAL INFORMATION

§734.11 GOVERNMENT-SPONSORED RESEARCH COVERED BY CONTRACT CONTROLS

3 . WA への提案

上記のように米国の基礎科学研究の運用は非常に合理的でかつ技術者が容易に判断する事ができ、ひいては安全保障上においても確実な管理が可能になると考えられ、米国の基礎科学研究の解釈を WA に提案していただきたくお願いいたします。

4 . 公知について

本基礎科学研究の提案に関連して、本邦の政省令の「公知」の解釈を見直していただけるよう要望いたします。

WA では「公知」として以下の定義があります。

"In the public domain"

This means "technology" or "software" which has been made available without restrictions upon its further dissemination.

Note Copyright restrictions do not remove "technology" or "software" from being "in the public domain".

この " without restrictions upon its further dissemination" は、提供される相手が特定少数であっても、二次的な情報伝達を禁止していない場合は公知としての扱いを受ける、と解釈すべきと思われます。例えば学会などでの発表時に公開の席上では開示をしなかったものの、個別の質問で回答したような場合、この回答が予め予想 Q&A として想定されていたような場合は規制を受けない、と解釈されます。

なお、米国ではこれ等の補足としてオープンであることの例として以下のように規定されています。

§ 734.7 PUBLISHED INFORMATION AND SOFTWARE

(a)

(4) Release at an open conference, meeting, seminar, trade show, or other open gathering.

(i) A conference or gathering is "open" if all technically qualified members of the public are eligible to attend and attendees are permitted to take notes or otherwise make a personal record (not necessarily a recording) of the proceedings and presentations.

我が国の「公知」の解釈には WA の本定義の要素が盛り込まれておらず、学会などでの発表で技術者に不要な制約を与えており、本来の科学技術発展の妨げになっています。この WA の解釈も政省令に盛り込む事を要望いたします。

以 上

参考資料 1

政省令 - EAR の比較

参考資料 2

EAR §734.8 、 §734.9 、 §734.11